

2024年11月期 第1四半期 決算説明資料

2024年4月12日

クックビズ株式会社(東証グロース 6558)



目次

- 1. エグゼクティブサマリ
- 2. 2024年11月期 第1四半期 決算概況
- 3. 2024年11月期 第1四半期 ビジネスハイライト
- 4. APPENDIX



目次

- 1. エグゼクティブサマリ
- 2. 2024年11月期第1四半期 決算概況
- 3. 2024年11月期 第1四半期 ビジネスハイライト
- 4. APPENDIX

2024年11月期 第1四半期 エグゼクティブサマリ

● 決算ハイライト





TOPICS

ハイライト HR事業が人材紹介を中心に好調
ハイライト HR事業は閑散期の季節性のなか、四半期黒字を達成
ハイライト 事業再生は最繁忙期を背景に売上利益ともに貢献 (前年同四半期は2か月間の取り込み)
その他 ワールドインワーカー連結開始。HR事業内に数値取込み



目次

- 1. エグゼクティブサマリ
- 2. 2024年11月期 第1四半期 決算概況
- 3. 2024年11月期 第1四半期 ビジネスハイライト
- APPENDIX



2024年11月期 第1四半期 決算概況(連結)

連結売上高はYoY 57.4%・連結営業利益はYoY 129.6%と成長基調が継続。

単位:百万円	23年11月期 第1四半期実績	24年11月期 第1四半期実績	YoY	24年11月期 予想	進捗率
売上高	571	899	57.4%	3,350	26.8%
-HR事業	357	532	48.9%	2,500	21.3%
-事業再生 (※1)	213	366	71.6%	850	43.1%
営業利益	42	96	126.2%	351	27.3%
- HR事業	▲9	35	-	282	13.7%
-事業再生	51	60	16.6	68	83.2%
経常利益	44	93	111.4%	343	27.1%
当期純利益	26	65	142.4%	363	17.9%

※1事業再生・成長支援事業のきゅういち株式会社は、23年11月期においては2022年10月3日から2022年10月31日までの2ヶ月間の損益を連結しております。 ※2当期純利益予想は税効果会計の影響ため営業・経常利益比で増益の予想となります。

■売上高

- ・HR事業・事業再生ともに堅調に推移
- ・事業再生の前年度1Qは10~11月の2か月分 の連結取り込みのため大幅増収

■営業利益

- · HR事業: 2018年度以来の1Q黒字化
- ・事業再生:EC開始に伴う販管費増を吸収し 増益

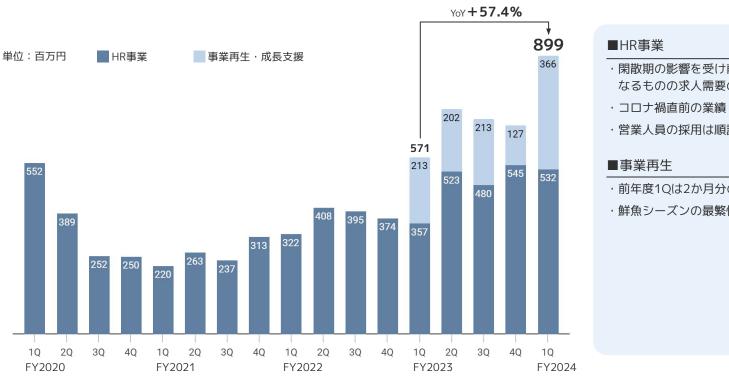
■業績予想比

- ・HR事業:1Qは閑散期のため進捗率は想定通りも、前年度4Qの勢いを維持
- ・事業再生:1Qが売上・利益のピークの見込 み。今期予想には中国輸出は含まず成長を見 込む



売上高推移(連結)

連結売上高 YoY 57.4%、HR事業 YoY 48.9%、事業再生・成長支援 YoY 71.6%と両事業が堅調に推移。

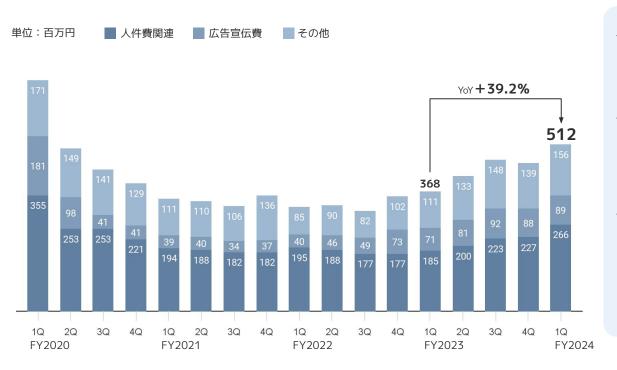


- ・閑散期の影響を受け前四半期比で減収と なるものの求人需要の高まりを受け堅調
- ・コロナ禍直前の業績トレンドに肉薄
- ・営業人員の採用は順調に推移
- ・前年度1Qは2か月分の変則決算
- ・鮮魚シーズンの最繁忙期を捉える



販売費及び一般管理費推移(連結)

積極的採用等の戦略投資を継続し、YoY 39.2%。



■人件費

- 人員採用は順調に進捗
- ・人件費のほか、採用関連費用も増加傾向

■広告宣伝費

- ・インハウス運用に切り替え、集客は順調に 進捗
- ・効率的な費用配分で目標集客人数を達成

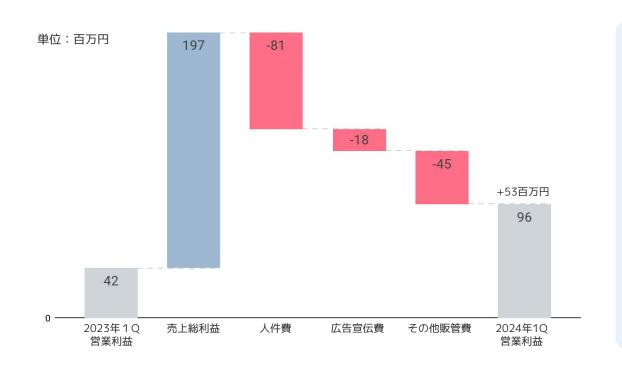
■その他

- ・人員増による諸経費の増加
- ·業務委託費用等(CAST開発関連)



営業利益増減分析(連結)

連結営業利益は、YoY 126.2%と戦略投資を吸収し増益。



■売上総利益

・売上の拡大により堅調に増加

■人件費

・1Q末の連結従業員数156名 (前期末比+23名)

■広告宣伝費

・インハウスに切り替え、集客は順調。効率的 な費用配分で目標集客人数を達成

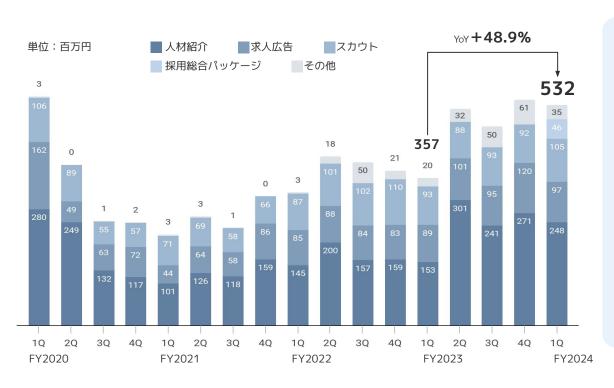
■その他

- ・人員増による諸経費の増加
- ·業務委託費用等(CAST開発関連)



売上高推移(HR事業)

人材紹介YoY 62.0%、求人広告YoY 8.2%、スカウトYoY 12.3%、その他YoY 73.8%。



■人材紹介

・求人需要の高まりが継続。企業の求人依頼数 も継続的に増加傾向

■求人広告

・リニューアルを控え成約単価は下げたもの の、掲載社数が伸長

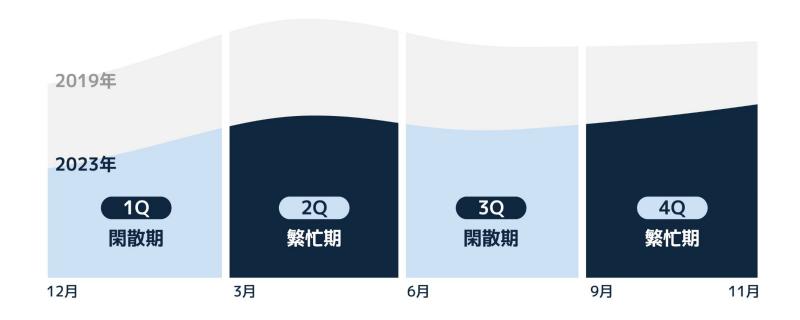
■スカウト

- ・前期以降、需要増を受け堅調。今春、新たな スカウトサービスをリリース予定
- ■採用総合パッケージ・その他
- ・採用総合パッケージは順調に進捗
- ・ワールドインワーカー社は順調に進捗



HR事業における季節性

転職・採用活動が活発化する2Q・4Qに売上が高まる傾向。2024年11月期においてはコロナ禍前の2019年11月期以前と同様のトレンドに復調(利益においても同様の傾向)。





HR事業 サービス別KPI推移

人材紹介

高い需要を背景に紹介単価は100万円を超える

紹介人数 YoY 53.4%/紹介单価 YoY 5.9%



求人広告

リニューアル前キャンペーンにより 社数増加の一方で単価下落

有料掲載社数 YoY 26.2% / 成約単価 YoY ▲13.5%



スカウト

顧客の需要が継続し社数は増加 単価は安定的に推移

利用社数 YoY 13.6%/成約単価 YoY ▲1.1%





HR事業 サービス別売上高・KPI(採用総合パッケージ)

売上高YoY 271%・利用社数YoY 240%と順調。HR事業の他のサービス同様1Qは若干の季節性影響。

	(単位)	2023年 1Q実績	2023年 2Q実績	2023年 3Q実績	2023年 4Q実績	2024年 1Q実績
売上高	(百万円)	17	29	43	54	46
利用社数	(社)	5	9	11	13	12
新規社数	(社)	1	4	3	2	-
既存社数	(社)	4	5	8	11	12
契約単価	(百万円)	23	24	25	25	24
採用人数	(人)	18	25	21	32	35

■利用社数

・リピート企業は順調。新規利用企業は企業の 期初予算取りの関係で2Q以降に受注の傾向 にあり、売上転嫁のずれが発生

■契約単価

・顧客企業への採用をコミットすることで他の サービスと比較し高い単価を維持

^{※6}か月~1年間を通して一括で契約を締結し、長期的かつ総合的に人材採用を支援。売上は契約期間に応じた期間按分による計上が主となる。 尚、本サービスにおいて発生する成功報酬の方の人材紹介料については、人材紹介売上に計上。



事業再生・成長支援(きゅういち)決算概況

売上高はYoY 71.8%、営業利益は販管費増を吸収し、YoY 2%と成長基調が継続。

単位:百万円	2023年 1Q実績	2023年 2Q実績	2023年 3Q実績	2023年 4Q実績	2024年 1Q実績
売上高	213	202	213	127	366
ホタテ	70	75	151	97	80
鮮魚	139	127	62	29	260
その他	3	0	0	0	26
売上原価	155	183	195	107	289
売上総利益	58	18	18	20	77
販売管理費	6	17	15	17	25
営業利益	51	1	3	2	52

■売上高

・鮮魚繁忙期に加え、噴火湾のサバが豊漁

■売上原価

・前年同四半期は2か月分の工場稼働に対し当 四半期は3か月分の工場稼働等の影響

■販売管理費

・EC開始に伴う発送料等の費用負担が増加

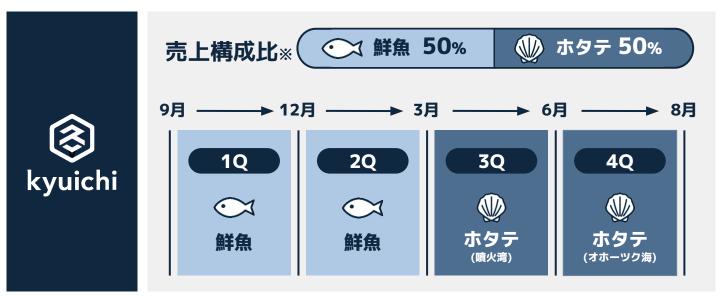
■営業利益

・コスト増のなか、増益



事業再生・成長支援事業の季節性

上期は鮮魚、下期はホタテと漁獲内容が偏重。ホタテにおいても国内流通と中国流通があるため、中国への禁輸影響は一定の割合はあるものの、きゅういち事業全体においては限定的。2024年度に関しては禁輸の継続を見据えた事業計画及び予算を策定。

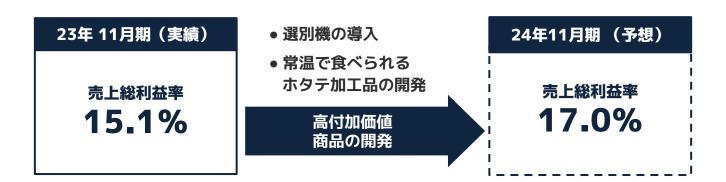


※2023年8月以降の中国向け禁輸影響を除いた通常の季節性



中国禁輸長期化を見据えた商品構成の見直しによる粗利見通し

- 粗利低下の主因であった両貝取引が、中国禁輸を受けて減少したことを機に売上総利益は改善傾向に。禁輸解除を待たず、中長期的な利益率向上をめざす。(1Q売上総利益率 21.0%)
- 東京電力による中国禁輸措置への補償に対しては申請済み。





目次

- 1. エグゼクティブサマリ
- 2. 2024年11月期 第1四半期 決算概況
- 3. 2024年11月期 第1四半期 ビジネスハイライト
- 4. APPENDIX



2024年11月期 事業方針

好調な外部環境を追い風に事業の再成長を図り、コロナ禍以降に展開した領域ごとの成長を推進。

業績成長の実現のための主要施策 積極的人員 求人サイト CAST事業への M&A推進に きゅういちEC/ 採用による リニューアル 投資による よる 飲食店向け 成長機会拡大 販路拡大 による顧客価値 DX事業推進 グループ強化 最大化



2024年11月期 重点施策について

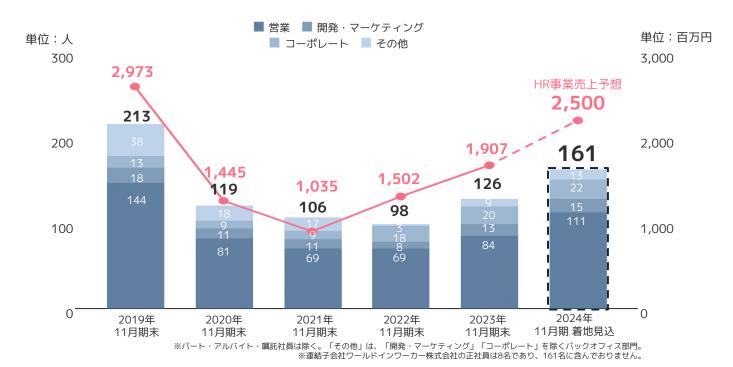
2024年11月期は、cookbizサービスの更なる成長に向けた積極的な投資に加え、前期グループ入りした各事業の取組みも加速させ、グループの非連続な成長を目指す。

HR	cookbiz	さらなる事業拡大に向けた人員体制の強化および求人サイトリニューアルの実施による顧客価値の向上を図る。
	ワールドインワーカー	今期の連結化に向けた体制整備を継続。中期的な持続的成長に向けた組織体制構築をめざす。飲食や介護に加え、株式会社ゆこゆこと業務提携契約により、宿泊事業者向けのマーケティングも強化。
DX	CAST	事業譲受後のPMIは順調に進捗中。営業・エンジニアポジションを増強し、下期以降の拡販に向けてプロダクトアップデートを図る。
事業再生	きゅういち	ALPS処理水問題が継続することを見越し、中国以外のホタテの 販路開拓を急ぐ。ECサイトや飲食店向けのマーケティングを強 化。



2024年11月期 従業員推移 (HR事業・単体)

拡販のための営業人員増や、リニューアルのための開発体制整備を図り、年間を通じて採用を強化。当期は前年度水準以上の増員を図る。(1Q現在:140人)





きゅういち関連トピック①

- 新設(交換)したトンネルフリーザーは2月より稼働開始。省エネおよび生産効率の向上を図る。 (経済産業省による中国禁輸措置の補助金を活用する予定であり、現在申請中)
- 北海道函館市の小・中学校60校と、一部の幼稚園の給食にきゅういちのホタテ貝柱が採用。
- 愛媛県のイタリアンレストラン「MARUBUN」とのコラボレーション商品を開発(NHKにて取組を報道)。



新設トンネルフリーザーは2月より稼働



函館市の給食で提供されたホタテ



MARUBUNのホタテピッツァ



きゅういち関連トピック②

- 2024年3月、ホタテ貝殻の資源としての有効活用のため、北海道スカラップ社に貝殻1.5トンを提供。持続可能な社会実現のための環境問題への取組みを強化 (用途: 石灰肥料にリサイクル加工)。
- 2024年7月20日にきゅういち<u>工場見学会</u>を実施予定。







目次

- 1. エグゼクティブサマリ
- 2. 2024年11月期 第1四半期 決算概況
- 3. 2024年11月期 第1四半期ビジネスハイライト
- 4. APPENDIX

APPENDIX

پلا cookbiz

業績推移

		2022年度			2023年度				2024年度	
単位:百万円 (単位未満切捨)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高		322	408	395	374	571	725	694	673	899
売上原価		3	4	4	4	160	191	200	117	290
売上総利益		319	404	390	370	410	533	493	555	608
売上総利益率		98.9%	98.9%	98.8%	98.8%	71.9%	73.6%	71.1%	82.5%	67.7%
販売費及び一般管理費		321	325	309	354	368	415	465	454	512
営業利益		▲2	78	80	16	42	118	28	100	96
営業利益率		▲0.8%	19.3%	20.5%	4.3%	7.4%	16.3%	4.1%	15.0%	10.7%
営業外収益		-	-	-	-	5	4	2	2	2
営業外費用		-	-	-	-	3	4	4	4	5
経常利益		▲4	79	78	14	44	118	26	98	93
経常利益率		▲ 1.4%	19.5%	19.9%	3.9%	7.7%	16.3%	3.8%	14.7%	10.4%
特別利益		-	-	-	-	-	-	-	2	-
特別損失		-	-	-	-	0	0	-	0	0
税引前四半期純利益		▲4	79	78	14	43	118	26	101	93
法人税等		1	▲3	▲ 5	15	17	1	7	▲3	27
四半期純利益		▲ 5	83	84	0	26	116	18	104	65
サービス別KPI										
	売上高 (百万円)	161	229	180	178	177	328	272	309	286
人材紹介	紹介単価 (千円)	897	869	947	983	989	965	975	995	1,048
	紹介人数 (人)	180	264	191	182	178	340	280	311	273
	売上高(百万円)	85	87	84	83	88	101	95	120	97
求人広告	成約単価 (千円)	333	302	345	366	389	314	358	324	336
	掲載社数(社)	256	289	248	226	229	321	267	371	289
	売上高(百万円)	87	101	102	110	93	88	93	92	105
スカウト	成約単価 (千円)	119	127	120	125	120	120	122	116	118
	利用社数(社)	732	800	848	882	781	736	760	801	887



2024年11月期 第1四半期損益計算書(連結)

単位:百万円	2023年第1四半期	2024年第1四半期	増減額	増減率
売上高	571	899	327	57.3%
売上原価	160	290	130	81.3%
売上総利益	410	608	197	48.0%
販売費および一般管理費	368	512	144	39.1%
人件費	185	266	81	43.8%
広告宣伝費	71	89	18	25.4%
営業利益	42	96	53	126.2%
営業利益率	7.4%	10.7%	-	-
経常利益	44	93	49	111.4%
税引前利益	43	93	49	114.0%
法人税等	17	27	10	58.8%
当期純利益	26	65	38	146.2%



2024年11月期 第1四半期貸借対照表(連結)

単位:百万円	2023年11月期	2024年第1四半期	増減額	増減率
流動資産	2,786	2,695	▲91	▲3.3%
現預金等	2,118	1,993	▲124	▲ 5.9%
売掛金	196	365	168	85.7%
固定資産	654	819	164	25.1%
敷金及び保証金	27	66	39	144.4%
資産合計	3,441	3,514	73	2.1%
流動負債	981	1,069	87	8.9%
短期借入金	392	492	99	25.3%
未払費用	78	95	17	21.8%
固定負債	932	896	▲35	▲3.8%
純資産	1,526	1,548	21	1.4%
繰越利益剰余金	▲26	▲7	18	-
負債・純資産合計	3,441	3,514	73	2.1%



中長期戦略の方向性を「食ビジネスの変革支援」と定義

これまで支援し続けた「人」を起点に、新たにDXや事業再生を通じて持続可能な食ビジネスのためのエコシステムを提供することで、事業規模を拡大する。





食産業が直面する課題



2030年における サービス業界の人不足は約400万人

出典:パーソル総合研究所「労働市場の未来推計 2030」

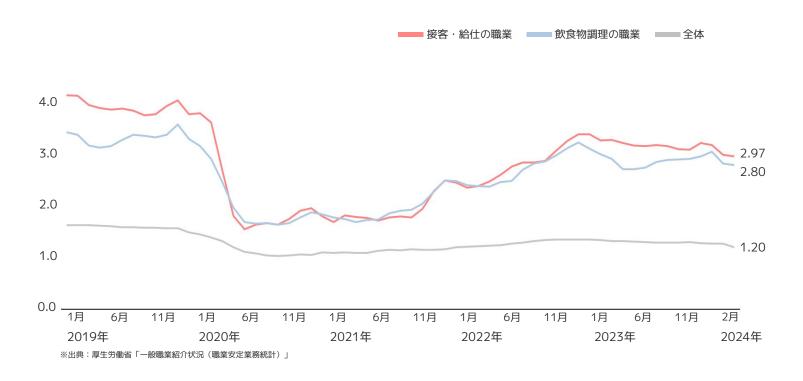
2025年における中小企業経営者の 約6割以上が70歳以上

出典:中小企業庁中小企業・小規模事業者におけるM&Aの現状と課題より



市場の環境 ~有効求人倍率~

全業種においては、ほぼ変動はないものの、飲食業界における求人ニーズは高水準で推移。2021年10月以降は特に求人ニーズの高まりを見せている。



働き手不足に対し、当社が取組む解決策

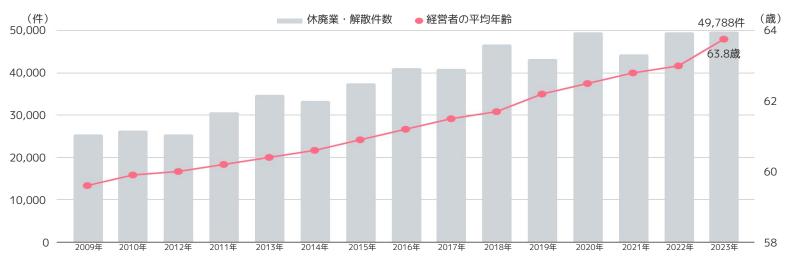
HR・DX領域でのサービス展開により、安定的な人材供給と省人化による生産性向上で働き手不足の課題を解決。





中小企業の後継者不足問題

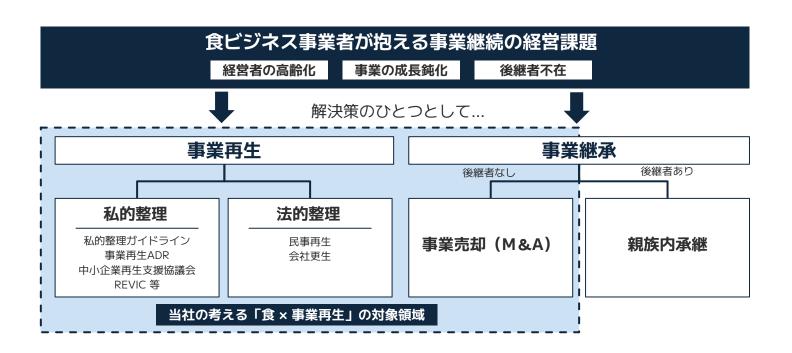
- 中小企業の休廃業は増加の一途をたどり、経営者の高齢化も深刻な問題。
- 中小型M&Aの譲渡側の目的は、従業員の雇用の維持・後継者不足。



出典:中小企業庁「中小企業白書 2023年版」休廃業・解散件数と経営者平均年齢の推移 (㈱東京商エリサーチ「2023年「休廃業・解散企業」動向調査」、「全国社長の年齢調査(2023年12月31日時点)」)

後継者不足に対し、当社が取組む解決策

付加価値の高い事業や商品を有する企業の事業及び経営の再構築を行い、企業価値を最大化。

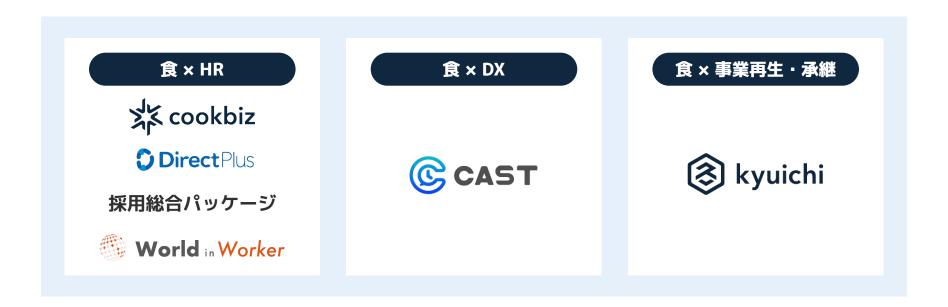




APPENDIX

事業・サービス全体像

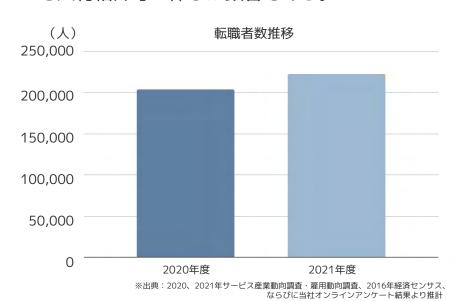
これまで支援し続けた「人」を起点に、新たにDXや事業再生を通じて持続可能な食ビジネスのためのエコシステムを提供することで、食産業の再成長に貢献。

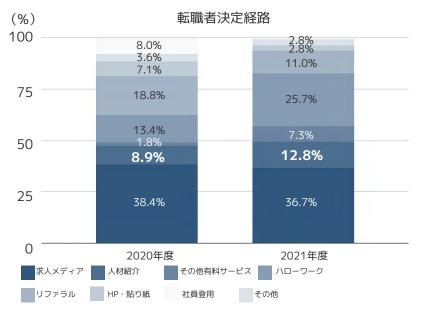




年間20万人以上が転職する市場

従事者数100万人のうち、年間20万人以上が転職する飲食業界の正社員転職市場。 実際の決定経路は、有料サービス(メディア・人材紹介・その他有料サービス)が半数強で、その中で も人材紹介等の伸びが顕著である。

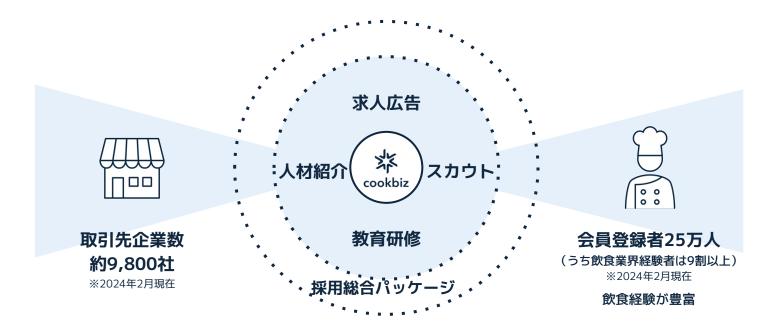




※出典: 当社オンラインアンケート結果より

飲食業界における正社員の転職領域に特化

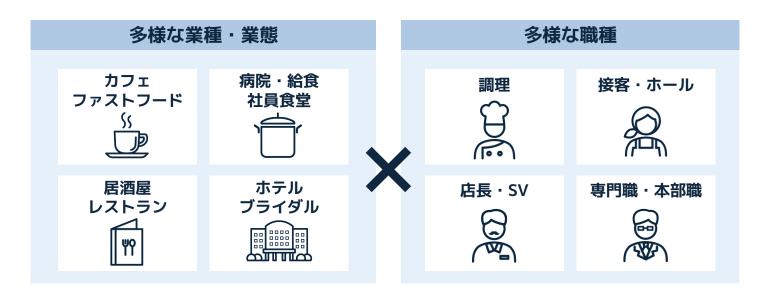
- 事化型サービスとして人材紹介・求人広告・スカウトサービス等を一環して提供。
- 多数の取引先企業と飲食経験登録者によるマッチングを実現。



取引先企業の幅広い業種・業態と多様な職種の求人に対応

取引先企業の業種・業態は多岐にわたり、多様な職種の求人依頼に対し、国内最大級の飲食業界経験者を有するデータベースからマッチングを実現。

- 取引企業のうち、売上占有率の高い企業群はほぼ無くロングテールの顧客分布。
- 飲食業界でのキャリアアップを考える様々な職種、業種・業態の飲食経験者が利用。



総合型と特化型の違い

- 幅広い業種・職種を取扱う総合型と比較し、特化型は特定の業種・分野に特化しているため総合型では探せない案件も多数取り扱う。
- 当社では飲食業界に精通したキャリアアドバイザーや営業が多数在籍。

総合型 特化型 ぱ に cookbiz 幅広い業種の案件を取り揃えているため潜在 応募者は飲食業界従事者が多く、選考スピード ターゲットにリーチが届く の早期化が可能 マーケティング力による求職者からの認知度 飲食業界を志望する即戦力人材を採用できる が高く、集客力に強み 企業への提供価値 大手~中小まで幅広い飲食企業から経験に 大手・中堅企業など知名度の高い求人が充実 合った仕事を探せる 業界の専門知識をもつキャリアアドバイザー キャリアアドバイザーが幅広い業界知識を持つ 000 の手厚いサポートがある 多くの求人から新たな分野への挑戦も可能 知名度だけではなく、実際の業務内容を重視 求職者への提供価値 した什事選びが可能





潜在顧客45万社に向けた当社のサービス展開

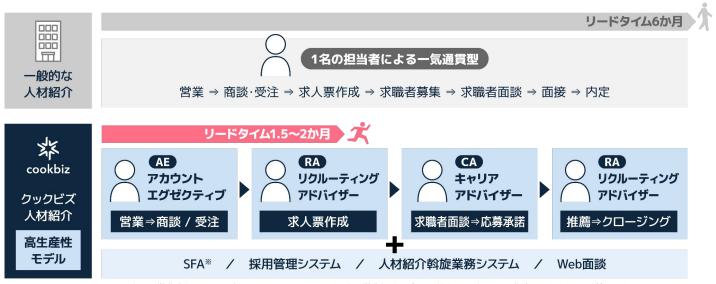
- 顧客規模や採用予算に応じたサービスラインナップを展開。
- サイトリニューアル後は小規模店舗に向けたサービスラインナップを強化。

顧客規模		対象企業数 (※)	主な採用手法	当社サービス	当社プライシング
	エンタープライズ	1万社	人材採用 求人広告 スカウト RPO	採用総合パッケージ	2,500万円/契約
本部採用 20店舗以上				cookbiz 人材紹介	90万円/1名
	SMB		求人広告 スカウト	cookbiz 求人広告	30~50万円/60日
複数店舗展開 11-20店舗				ダイレクトプラス (24年3月終売、4月以降新商品リリース予定)	12万円/月額利用
	SMB	45万社	少額求人媒体 ハローワーク リファラル	cookbiz 求人広告	FY24以降
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				CAST	展開予定

※出典:経済センサス「従業員規模別企業数」

クックビズ独自の分業体制による高い生産性

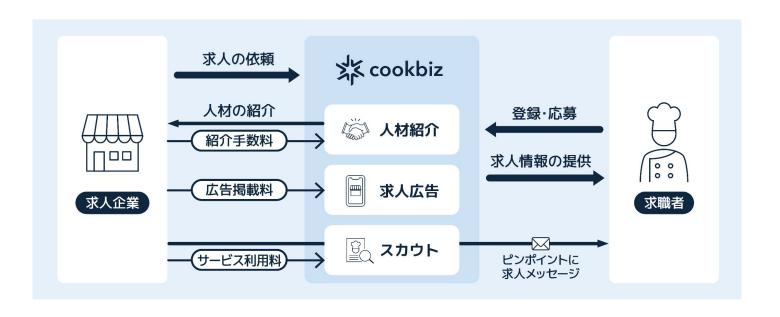
業務フローは分業体制を敷いており、さらに各工程をDX化することで高生産モデルを構築。特に人材紹介においては面談決定から内定承諾までのリードタイムが1.5~2か月と短く、一般的な人材紹介会社と大きく差をつけている。



※Sales Force Automationの略で、営業支援のための各種ツール・システムを指す。営業担当の商談開始から受注までの進捗の可視化や活動管理を行う。

ビジネスモデル (HRサービス)

人材紹介・求人広告・スカウトサービスを提供。業界最大級の求人数を誇り、約25万人の求職登録者とのマッチングを実現。



ビジネスモデル (採用総合パッケージ)

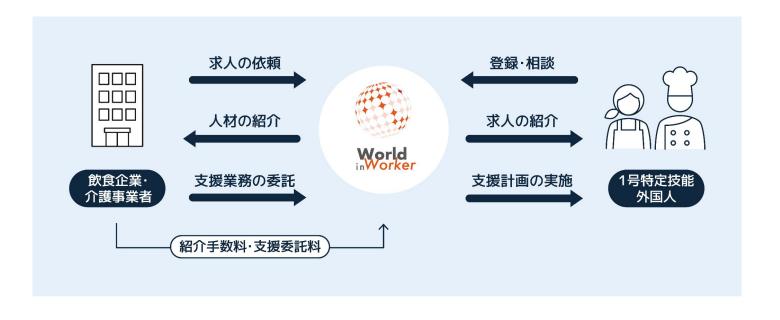
人材紹介・求人広告・スカウト・RPO・教育研修・採用ブランディング等、当社のあらゆるサービスを 組み合わせ、企業の人員不足や組織構造課題を総合的に解決。

企業の事業戦略や年間採用計画に合わせた総合支援サービス



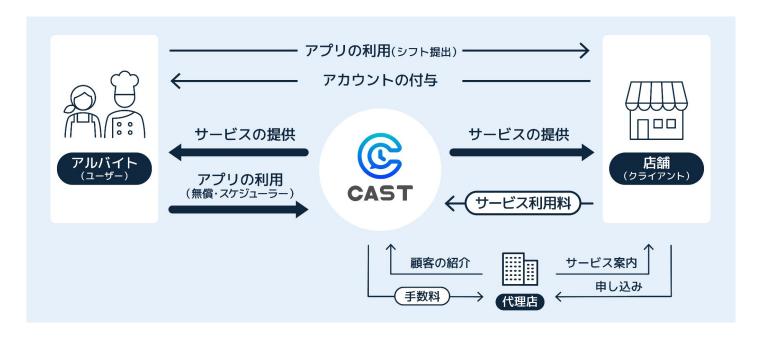
ビジネスモデル(特定技能外国人材の人材紹介・登録支援)

主に飲食・介護事業者に特化した特定技能外国人材の人材紹介と登録支援業務。紹介時の紹介手数料だけではなく、その後の登録支援業務による月額報酬(支援委託料)を受け取り、特定技能外国人の就労をサポート。



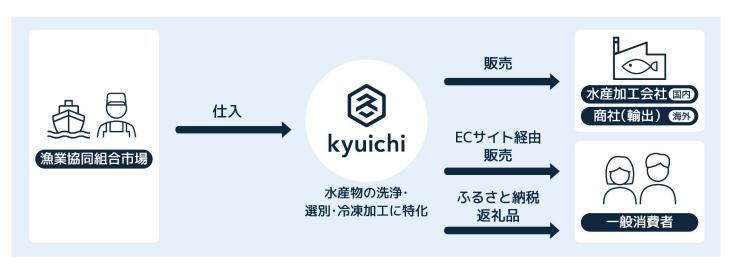
ビジネスモデル(シフト管理・勤怠管理・給与管理サービス)

主に飲食事業者向けのシフト管理・勤怠管理・給与管理SaaSプロダクト。費用は、店舗の登録ユーザー数に応じた月額・従量課金型。個人ユーザーは無償で利用可能。



ビジネスモデル(事業再生・承継(きゅういち株式会社))

- 北海道 内浦湾(通称、噴火湾)を中心とした13の買参権を保有しホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を展開。
- 水産物の洗浄・選別・冷凍加工に特化。
 - 直接漁協から鮮度が高い状態で仕入れたのち、真水ではなく海水を引き込み殺菌処理する独自の加工プロセスによって、高品質な商品を国内外へ供給。



15のオイシイことプロジェクト開始

設立15周年記念プロジェクトとして、ヒトや環境、未来にオイシイ企画を発信。 社員によるワークショップを通じて、全ステークホルダーにとってオイシイ15の企画を選出し、推進。



イベントフードコーディネーター



食の力でイベントをサポート

学生が中心となり開催する 地域密着型イベント 「神戸万博」に協賛



エコフードBOX



「もったいない」を 減らす・つくらないために

大阪本社オフィスに エコフードBOXを設置



cookbiz Dining Out



次世代に向けた食育を リードする

美味しく食育!函館市の小・中学校・幼稚園の給食に、きゅういちのホタテ貝柱が採用



cookbiz Praise



賞賛文化を醸成し、 社員の相互理解を深める

四半期に一度の 社員投票・表彰実施 第1回は「BestThanks賞」

経営陣のご紹介



代表取締役社長 **藪ノ賢次** Kenji Yabuno 2004年に大阪府立大学工学部卒業後、起業。 2007年12月にクックビズを設立、代表取締役 に就任。



常勤監査役 遠藤隆史 Takashi Endo 2014年、当社入社。2018年、当社内部監査室 室長 就任。2021年2月より当社監査役。





監査役 福本 洋一 Yoichi Fukumoto 2003年、弁護士登録(大阪弁護士会)2014年 弁護士法人第一法律事務所 パートナーに就任。 2017年2月より当社監査役に就任。





監査役
山田 琴江 Kotoe Yamada
監査法人トーマツを経て2019年 ブリッジコンサルティンググループ株式会社 監査役・2022年同社取締役監査等委員 就任。2024年2月より当社監査役に就任。

APPENDIX 会社概要

社名	クックビズ株式会社
設立	2007年12月10日
資本金	760,463千円
代表者	代表取締役社長の藪ノ賢次
本社所在地	大阪府大阪市北区芝田二丁目7番18号 LUCID SQUARE UMEDA 8階
従業員数	(連結) 156名 (単体) 140名 (パート・アルバイト及び嘱託社員を除く)
事業内容	食分野に特化した各事業を展開 ・HR事業 ・DX事業 ・事業再生・承継事業
関係会社	きゅういち株式会社、ワールドインワーカー株式会社

※2024年2月末時点



IRお問合せ窓口について

IRお問合せ

▼IRに関するお問合せ用フォームはこちら

https://corp.cookbiz.co.jp/ir/contact/

▼よくあるご質問はこちら

https://corp.cookbiz.co.jp/ir/faq/

IRニュース

▼IRニュース配信登録(URL)はこちら

https://corp.cookbiz.co.jp/ir/mail-magazine/

▼IR動画はこちら

https://corp.cookbiz.co.jp/ir/movies/

▼IRニュース配信登録(QRコード)はこちら

